

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年1月21日(2010.1.21)

【公開番号】特開2009-284549(P2009-284549A)

【公開日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2009-048

【出願番号】特願2009-201027(P2009-201027)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 U

H 0 4 N 7/18 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月20日(2009.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画を撮像する撮像手段と、

前記撮像手段で撮像された前記動画から前記動画の一部領域に存在する追跡対象を検知する検知手段と、

前記動画および前記追跡対象を記録する記録手段と、

前記追跡対象を複数並べた追跡対象部を表示する表示手段と、

前記追跡対象部に並べられた複数の前記追跡対象のうちの所定の追跡対象が選択された場合、その追跡対象に対応する動画を再生するよう制御する制御手段と
を備える情報処理装置。

【請求項 2】

前記動画には、複数の前記追跡対象が含まれる

請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記表示手段は、所定の日付の所定の時間帯における録画実績を表す録画実績表示部を前記追跡対象部とともに表示し、

前記制御手段は、前記録画実績表示部において所定の日付の所定の時間帯における録画実績が選択された場合、その日付のその時間帯に検知された前記追跡対象を前記追跡対象部に表示するよう制御する

請求項 1 または 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

コンピュータを、動画および前記動画の一部領域に存在する追跡対象を再生する再生手段と、前記再生手段から再生された前記動画および前記追跡対象を表示手段に表示するよう制御する制御手段として機能させるプログラムであって、

前記制御手段は、前記追跡対象を複数並べた追跡対象部を前記表示手段に表示し、前記追跡対象部に並べられた複数の前記追跡対象のうちの所定の追跡対象が選択された場合、その追跡対象に対応する動画を再生するよう制御する

プログラム。

【請求項 5】

前記動画には、複数の前記追跡対象が含まれる
請求項４に記載のプログラム。

【請求項６】

前記制御手段は、所定の日付の所定の時間帯における録画実績を表す録画実績表示部を
前記追跡対象部とともに前記表示手段に表示し、前記録画実績表示部において所定の日付
の所定の時間帯における録画実績が選択された場合、その日付のその時間帯に検知された
前記追跡対象を前記追跡対象部に表示するよう制御する

請求項４または５に記載のプログラム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報処理装置およびプログラム

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

本発明は、情報処理装置およびプログラムに関し、特に、所定の領域を撮影するとともに、その領域内の動体を撮影し、その結果得られる画像のうち、ユーザの所望する画像を容易に再生することができるようにする情報処理システム、情報処理装置およびプログラムに関する。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２０】

本発明の情報処理装置は、動画を撮像する撮像手段と、撮像手段で撮像された動画から動画の一部領域に存在する追跡対象を検知する検知手段と、動画および追跡対象を記録する記録手段と、追跡対象を複数並べた追跡対象部を表示する表示手段と、追跡対象部に並べられた複数の追跡対象のうちの所定の追跡対象が選択された場合、その追跡対象に対応する動画を再生するよう制御する制御手段とを備える。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２１】

この動画には、複数の追跡対象が含まれるようにすることができる。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

表示手段は、所定の日付の所定の時間帯における録画実績を表す録画実績表示部を追跡対象部とともに表示し、制御手段は、録画実績表示部において所定の日付の所定の時間帯

における録画実績が選択された場合、その日付のその時間帯に検知された追跡対象を追跡対象部に表示するよう制御することができる。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

本発明のプログラムは、コンピュータを、動画および動画の一部領域に存在する追跡対象を再生する再生手段と、再生手段から再生された動画および追跡対象を表示手段に表示するよう制御する制御手段として機能させるプログラムであって、制御手段は、追跡対象を複数並べた追跡対象部を表示手段に表示し、追跡対象部に並べられた複数の追跡対象のうちの所定の追跡対象が選択された場合、その追跡対象に対応する動画を再生するよう制御する。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

この動画には、複数の追跡対象が含まれるようにすることができる。

制御手段は、所定の日付の所定の時間帯における録画実績を表す録画実績表示部を追跡対象部とともに表示手段に表示し、録画実績表示部において所定の日付の所定の時間帯における録画実績が選択された場合、その日付のその時間帯に検知された追跡対象を追跡対象部に表示するよう制御することができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

本発明においては、動画の一部領域に存在する追跡対象を複数並べた追跡対象部が表示手段に表示され、追跡対象部に並べられた複数の追跡対象のうちの所定の追跡対象が選択された場合、その追跡対象に対応する動画が再生される。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0033
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正14】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0034
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正15】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0035
【補正方法】削除
【補正の内容】